

# 第1学年 学級活動指導案

## I 題材名

「合唱祭の取り組みの中間振り返り」内容項目（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

## II 指導のねらい

中間振り返りを通して、仲間と協力して練習を行っていることや真剣に取り組んでいることを認め合うとともに、課題を交流する中で個の目標の意識をさらに高めることと、個の成長を意識した声かけや関わり合いが必要であることに気づき、共に成長できる練習をしようとする意欲を高める。

## III 本時の展開

生徒の活動	指導と評価
<p>1. 本時の話し合いのめあてと議題を議長が確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">困ったこと                      よかったこと</p> <p style="text-align: center;">これからに向けて</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div style="writing-mode: vertical-rl;">C組の スローガン</div> <div style="writing-mode: vertical-rl;">議題</div> <div style="writing-mode: vertical-rl;">めあて</div> <div style="writing-mode: vertical-rl;">合唱の 取組の 振り返り</div> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">中間振り返り 自分 学級・仲間</p>	<p>○事前に学級全員が振り返り用紙を記入し、議長はそれを見て誰がどんな意見をもっているかを把握しておく。また、話し合いの流れについても確認しておく。</p>
<p>《C組のスローガン》 励まし合ったりアドバイスし合ったりして真剣に取り組み、一人ひとりが全力を出し達成感を味わえる合唱をつくろう。</p> <p>2. よかった姿を認め合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分について</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">よかったこと</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仲間、学級について</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習に真剣に参加できた。</li> <li>・大きな声で歌えるようになった。</li> <li>・合唱委員の準備に協力できた。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 仲間の頑張りに応えたい。(集団)</li> <li>→ 自分の決めたことをしっかりやりたい。(個)</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんがアドバイスしてくれた。</li> <li>・〇〇さんの口の大きさがとてもよい。</li> <li>・頑張ってるという雰囲気がみんなにある。</li> </ul>	<p><b>【教師の出場①】確認</b> 「よかったことに共通することはなんだろうか」と問い、スローガンに関わって「協力」や「真剣」が姿として現れていることを共通認識させる。</p>
<p>○自分の立場を明らかにしながらハンドサインを用いて話す。 ○できたことに対する気持ちを議長が問い返すことで、協力する気持ちや真剣な気持ちを出表できるようにする。</p> <p>3. さらに高められることについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が全力を出しているわけではない。</li> <li>・準備などが人任せになっている時がある。自分からもっと動けるようにしたい。</li> <li>・口の大きさや表現力をもっと全体でよくしたい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 音程がまだとりきれいでないので声を出すときに<b>自信がない</b>。</li> <li>→ どんな表情をしたらよいのか<b>わからない</b>。</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">これからどうしていくか(一人ひとりが達成感を味わうために)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員ができるようにするために、もっと一人ひとりを見て練習をしていく。</li> <li>・やる気があってもうまくできない人と一緒に声を出したり特訓したりして工夫して練習をする。</li> <li>・一人ひとりに個人差はあるけど、自分が決めた目標を達成するために自分自身の全力を出す。</li> <li>・アドバイスを耳を傾け、自分の限界だと思っても頑張ってみる。→ 達成感につながる</li> </ul> </div>	<p>○個人の困り感を出表できる場をつくることで、できていない生徒を責めるのではなく、一人ひとりの課題を全体で共有してそれを解決していく姿勢が大切であるということの合意形成をする。</p> <p><b>【教師の出場②】深め</b> 「一人ひとりが達成感を味わうには、どのように関わっていけばよいか」と問い、ただ責めたり呼びかけたりするのではなく、できていない生徒に対して一緒に練習したり、合唱が苦手な生徒が自分から殻を破って成長できるように励ましたりするなど、個人のふんばりを期待して個の成長を願う関わりが達成感につながることを確認する。</p>
<p>4. 3の話し合いをまとめ、議長が後半の取組の重点を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>達成感を一人ひとりが感じるために、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 仲間のアドバイスを聞いて、自分の目標に向かって自分の限界を超えて頑張ってみる！</li> <li>→ 一緒に成長しようという気持ちで、工夫して仲間に関わる！</li> </ul> </div>	<p><b>【評価規準：発言・記述】</b> 話し合いの内容や議長のまとめをもとに自分の後半の取組の行動目標を明らかにし、仲間と関わりながらさらに自分を成長させようとする意欲をもっている。 (関心、意欲、態度)</p>
<p>5. 4の話をもとに自分の後半の取組の行動目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標の〇〇がもうちょっとできそうなので、それを達成感を感じられるまでやり抜く。</li> <li>・仲間にたくさん関わって、みんなで限界を超えたい。</li> </ul> <p>6. 議長が本時の話し合いを評価する。(議題と目当てに対して)</p> <p>7. 教師の評価を聞く。</p>	